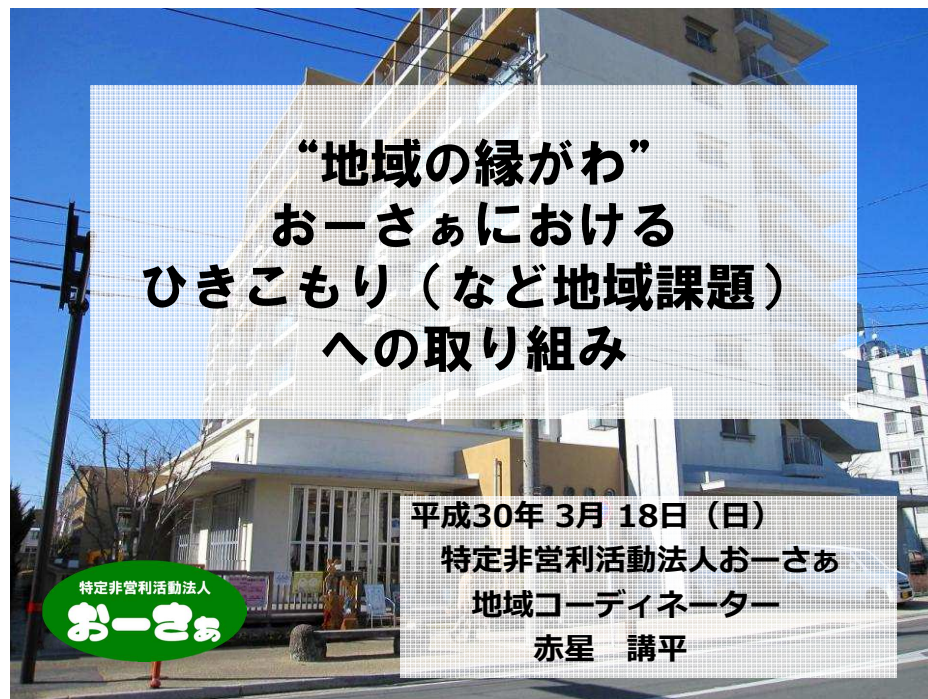




1. 特定非営利活動法人おーさぁ のご紹介

- おーさぁの事業のご案内
- 「地域の縁がわ」について
- 熊本市ひきこもり支援センター「りんく」



以前は子どもたちは親だけでなく地域に育てられるという、地域の人同士の結び付き＝「結い」がありましたが、今では核家族化、都市化の影響で、その結び付きが薄れています。
そこで、「結い」をはぐくむ場となる「地域の『縁がわ』」を作ることが、地域の結び付きを強くすることにつながるのではないかの思いで、モデルとなる取り組みの一つとして、平成17年10月20日、熊本市にオープンした「健軍くらしささえ愛工房」。

「健軍くらしささえ愛工房」は、県営健軍団地の建て替えに合わせて、1階部分に整備した福祉施設です。介護サービス、子育て中の方への交流の場の提供、障害者、若者たちが共に働く喫茶サービスなど、地域での在宅生活を支えるためのサービスが行われています。

また、県内外から視察者も受け入れながら、「地域の縁がわ」を担う人材の育成との拠点にもなっています。

お年寄りから障害のある方、さらには子育て中のお父さん、お母さん、子どもまでいろいろな方が共に過ごすことで、新しいネットワークが生まれ、心の優しさをはぐくむ場所がおーさぁです！



・ 対象となる方

熊本市内にお住まいのひきこもりでお悩みのご本人、ご家族

***費用については無料です**

ひきこもりご本人

- ・ 人と関わるのが苦手
- ・ 外に出るのが怖い
- ・ 現状をどうしたらいいかわからない
- ・ 自分の将来が不安

.....など

ひきこもりご本人のご家族

- ・ 家族がひきこもっている
- ・ どう接したらいいかわからない
- ・ 本人の本当の気持ちがわからない
- ・ 子どもの将来が不安

.....など

・ 活動内容(一覧)

- ・ 電話・面接による個別相談
- ・ ご本人向けプログラム
- ・ ご家族向けプログラム(家族教室)
- ・ 訪問支援
- ・ 普及活動(研修会・ホームページ等での情報発信)
- ・ 人材育成(ひきこもりサポーターの養成・派遣)
- ・ 関係機関との連携

・ 活動支援内容

①電話・面談による相談

・ 電話

相談内容を聞き、面談の予約を設定

相談内容により、他の機関に紹介する場合がある。

・ 面談:予約制

本人面談

本人のニーズ、ペースに合わせて支援を行う。

必要に応じて**他の機関と連携**を取りながら、支援を行う場合がある。

家族面談

主に、家族からの相談が多く、徐々に本人が来所をする場合が多い。

本人が来所できない場合はその対応法などを面談の中で一緒に考えていく。

必要に応じて、訪問支援を行う場合もあるが、本人の承諾が必要の上、現時点では、訪問支援の枠が限られている。

・ 活動支援内容

②ご本人向けプログラム

- ・ 本人が安心して過ごせる場として、当事者同士の交流、社会性向上を目的に各種活動やプログラムを行います。
- ・ 対象者:ご本人(おおむね10代～40代) 毎週2回実施





活動支援内容

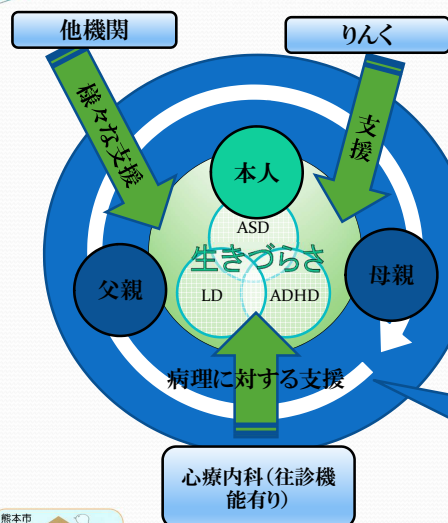
③家族教室

- ・ ひきこもりについての理解を深めたい
- ・ 子どもの気持ちを知りたい
- ・ 同じ悩みを持つご家族と話してみたい

同じ悩みを抱えたご家族自身がその思いを語り、
分かち合い、理解を深める場です。(毎月1回実施)

- ・ 家族教室のご利用には、事前の面談が必要になります。
(ご家族のみの面談で構いません)

相談支援で 大切にしていること



<多機関連動の効果>

既存の相談機関へアクセスする家庭内には、多重の困難が潜在も顕在も含めて存在することが前提。
本ケースに限らず、対象者は人である以上、その時々で感情は揺れ動き、それとともにニーズは変動していくため、いかに流動的に素早く有機的に連動していくネットワークを常設しておくかが肝要。
本ケースでは、多機関連動によって本人・家族は当然ながら、本ケースに関わる全員に先の見通し(支援イメージ)が共有されたことで、対象者にも支援者にも安心感を生み出し、その結果、本人や家族が変化したと推察している。

それぞれが個別に支援するだけでなく、支援者同士が連携して一緒に考えていることが、支援者・家族・本人の安心感につながる

2. ひきこもり(など地域課題)への取り組み

- 「地域の縁がわ」として地域と共生
- ↓
- 地域課題の汲み取り
- ↓
- NPOとしての特色を活かした
フォーマル/インフォーマルの活動展開
- ↓
- 地域資源・法人内資源・法人外ネットワークの活用
- 制度の狭間もカバーした地域課題への対応

3. 対応事例の紹介

—Aさん(2012年～現在?)—

- ・ 高校時代 不登校 → 卒業後ひきこもり
- ・ 2004年4月(21歳) 大学進学 → 卒業後大学院進学
- ・ 2009年1月(26歳) うつ病と診断 → ひきこもり
- ・ 2011年頃 熊本県精神保健福祉センターの
ひきこもりデイケアへつながらる

※ この間さまざまな支援機関の情報をもらう

※ 興味のある当事者プログラムへ行ってみるなどの活動

3. 対応事例の紹介

—Aさん(2012年～現在?)—

- ・ 2012年秋(30歳) おーさあのくまもと若者サポートステーション
へ自分で電話する → 利用開始
※ 面談、講座受講、**職場体験(法人内)**、**ボランティア活動**
- ・ 2013年10月(31歳) おーさあ介護ルームで**中間就労**
- ・ 2014年1月(31歳) おーさあ事務所(縁がわ部門)で事務職就労
(**熊本市若年未就職者の人材育成事業による**)
- ・ 2015年1月(32歳) おーさあ自立支援事業で就労支援員
の仕事始める
- ・ 現在(35歳) 縁がわ部門総務・自立支援兼務 +α



特定非営利活動法人おーさあの地域の縁がわ活動の様子



・ Aさんの縁がわ活動

おーさあバンド メンバー募集♪

おーさあバンドは、おーさあに関わる
人々(おーさあスタッフ、利用者さん、
ボランティアさん、地域の方など)による
音楽サークルです。

音楽に興味がある人は誰でも入れます。

経験は一切問いません！
「バンドで演奏したい！」「楽器に触って
みたい！」「音楽について語れる仲間が
欲しい！」という方はぜひご参加ください！

毎月第二土曜の
10:00~12:00

喫茶おーさあにて活動しています！
(変更の場合あり)

入部申し込み・お問い合わせは
おーさあ赤星までご連絡ください☆



3. 対応事例の紹介

—Aさん(2012年～現在?)—

- ・ 法人内部での「多機関協働」+法人外との他機関協働
法人内資源と地域資源の活用
→「地域の縁がわ」として活動することのメリット
- ・ 選択肢は多く、ステップは細かく
情報を持っていることの安心感
自分のタイミングで選び、動く(時にはつついてもらいながら)
- ・ 制度の枠に捉われない活動展開
使える制度は使う
「制度は後から付いてくる」

対象者を限定しない 共生型多機能施設



ありがとうございました。

